

生徒会役員の石川さんたちは、来年度、中学校へ入学する小学校6年生のために、中学校生活について紹介することになりました。次の【前回の話し合いで決まったこと】と【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【前回の話し合いで決まったこと】

- ① 「小学校との違い」を五つ紹介する。
- ② 四人一グループで一つの内容を紹介する。
- ③ 各内容の担当グループは、提示する写真や映像等の準備もする。
- ④ 紹介する五つの内容のうち、次の三つが決まった。
  - ・校舎の案内
  - ・授業の様子
  - ・部活動
- ⑤ あとの二つは次の時間に決める。

【話し合いの一部】

場面①

石川さん



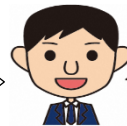
前回の話し合いで、小学校6年生へ紹介することは、「校舎の案内」「授業の様子」「部活動」と決まりました。

今日は、あと二つの内容を決めましょう。それぞれの内容をどのように紹介するかは、次の話し合いの時に担当グループを決めたあとで、グループごとに考えることにしましょう。

では、まず私の考えを言います。私は、中学生の学校生活を紹介したらよいと思います。例えば、中学校での一日のスケジュールや帰宅時刻など、小学校と違う学校生活に興味をもって聞いてくれると思います。

ぼくは、学校行事を紹介したらよいと思います。「体育大会」や「文化祭」などは、生徒が中心となって企画・運営して、自主的に活動し、達成感や一体感を感じられる行事です。小学生は中学校での活動に関心を高めてくれるのではないかと思います。

松下さん



確かに、その二つの行事は生徒が中心となっているので、小学校とは違いますね。紹介する行事について、6年生にとって身近な存在である中学校1年生に中学校の行事の感想も聞いたらいいと思います。

中野さん



中野さんの考えに賛成です。学校行事に実際に関わってみての感想を紹介することで、6年生の学校行事への関心がさらに高まると思います。

松下さん



石川さん



A なるほど。よいアイデアですね。でも、それは学校行事をどのように紹介するかというアイデアだから、次の時間に担当グループが話し合うことです。6年生に中学校の何を紹介するかという内容になっていないので、今の話し合いの流れからそれています。まず6年生に何を紹介するのかを決めましょう。

中野さんはどんなことを小学生に紹介したいですか。

|    |
|----|
| 年  |
| 組  |
| 番  |
| 氏名 |

場面②

生徒会の委員会で自主的に活動しているボランティア活動を取り上げたらよいと思います。生徒が自分たちで考えて、呼びかけを行っているところが小学校とは違うと思います。

中野さん



**B**  
ボランティアの活動内容や日時の決定などの企画、当日の運営や後片付けのすべての活動を、生徒が中心になって進めていることは、ぜひ、6年生に知ってもらいたいですね。

松下さん



石川さん



そうですね。私もボランティアで清掃活動をするときは、自分で清掃場所や時間を決めています。小学校では先生が決めることが多かったように思いますが、中学校では、生徒会や委員会が中心となって進めていますね。

これまでのところ、中学生の学校生活、学校行事、ボランティアの三つの案が出ていますが、この三つの中から紹介する二つのことを決めますか。

三つとも紹介できればよいと思いますが、やっぱり二つにしなければならぬのですか。

中野さん



ぼくは、今日出された三つの案はどれも中学校らしい内容なので、ぜひ紹介したらよいと思います。三つとも紹介できる方法はありませんか。

松下さん



私も松下さんと同じ意見です。今日出された三つの案をすべて生かしたいという点では、中野さんも意見が一致していますね。

私は、三つの案のうち、二つの案には共通点があると思います。そこで、その共通点のある二つの案を一つにすることを提案します。

具体的には、

石川さん



**C**

※ 話し合いはこの後も続く

一 場面①の石川さんのAの発言は、話し合いの中でどのような役割を果たしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを選びなさい。

- 1 これまでの話し合いで出ていない考えを補足するとともに、これからの話し合いの意義を確かめる役割。
- 2 これまでの話し合いの改善点を指摘するとともに、話し合ったことで生じた疑問を確かめる役割。
- 3 これまでの話し合いの仕方を確認するとともに、これからの話し合いの方向性を明らかにする役割。
- 4 これまでの話し合いの結論を示すとともに、これからの話し合いの仕方の留意点を明らかにする役割。

二 場面②の松下さんのBの発言について説明したものととして、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 場面②における中野さんの発言の一部を具体的に言い換えて確認しながら、自分の考えを示している。
- 2 場面②における中野さんの発言の一部を取り上げ、様々な考えを出し合うように周囲に促している。
- 3 場面②における中野さんの発言の要旨をまとめながら、話し合いを通して導かれた結論を述べている。
- 4 場面②における中野さんの発言と他の人の発言との相違点を示し、議論の要点を確認している。

三

場面②の

C

で石川さんは、中野さんと松下さんの意見を生かして、二人が納得するような提案をしようとしています。あなたが石川さんなら、どのような提案をしますか。次の条件1と条件2にしたがって、「具体的には」に続けて、実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二重線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「二つの案」とは何かを明らかにして書くこと。

条件2 条件1で示した「二つの案」に「共通する内容」を書き、「二つの案」をまとめて紹介すればいいと考える理由を書くこと。

※ 次の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

具体的には、

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

1 中学校 国語 解答用紙

年

組

番

氏名

一

二

三

具体的には、

---

---

---

---

---

---

---

---

中学校 国語 解答例

1

|    |
|----|
| 年  |
| 組  |
| 番  |
| 氏名 |

一

|   |
|---|
| 3 |
|---|

二

|   |
|---|
| 1 |
|---|

三

具体的には、「学校行事」と「ボランティア」の二つの案を合わせて紹介することを提案します。両方とも生徒の自主的な活動であるというところが共通しているし、二つの案を合わせることで、今日出た三つの案をすべて生かすことができるからです。

〈中学校 国語 解説〉

設問 1一

1 解説

趣旨

話し合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話し合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

| 問題番号 | 解答類型 |            | 正答 |
|------|------|------------|----|
| 1一   | 1    | 1と解答しているもの |    |
|      | 2    | 2と解答しているもの |    |
|      | 3    | 3と解答しているもの | ◎  |
|      | 4    | 4と解答しているもの |    |
|      | 99   | 上記以外の解答    |    |
|      | 0    | 無解答        |    |

2 学習指導に当たって

○ 参加者全員が話し合いの話題や方向を捉えて話し合うことができるようにする

話し合いをする際には、誰と何について話し合うのか、何のために話し合うのかを理解し、今は何について話し合っているのかを捉え、それに応じて話すように指導することが大切である。

例えば、一定の合意を形成して物事を決めることを目的とした話し合いを行うなどの学習活動が考えられる。その際、話し合いの流れを捉えるために、話の要点を各自でメモしたり、移動黒板等を用いて話し合いの過程を記録したりするなどの工夫について考えるように指導することも効果的である。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B 1三に係る授業アイデア例「対談を読んで考えたことを基に座談会を行う」、平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A 1二に係る授業アイデア例「話し合いの動画を見ながら、司会の役割を話し合う」が参考になる。

設問 1二

1 解説

趣旨

相手に分かりやすく伝わる表現について理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

| 問題番号 |   | 解答類型 |            | 正答 |
|------|---|------|------------|----|
| 1    | 二 | 1    | 1と解答しているもの | ◎  |
|      |   | 2    | 2と解答しているもの |    |
|      |   | 3    | 3と解答しているもの |    |
|      |   | 4    | 4と解答しているもの |    |
|      |   | 99   | 上記以外の解答    |    |
|      |   | 0    | 無解答        |    |

2 学習指導に当たって

○ 相手に分かりやすく伝える表現を用いて話すことができるようにする

自分の考えを分かりやすく相手に伝えるためには、話合いの話題や方向を捉えた上で、話題に対する自分の立場や考えを明確にするとともに、そのような立場や考えであること理由について話すように指導することが大切である。その際、話合いの参加者の興味・関心、情報量等を考慮しながら、相手の発言を具体的に言い換えたり、他者同士の発言を結び付けて話したりするように指導することも重要である。

指導に当たっては、平成29年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A7-1に係る授業アイデア例「名インタビュアーになろう」「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語1『『体験入部』の報告をしよう』が参考になる。

設問 1三

1 解説

趣旨

話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

■評価の観点

話す・聞く能力



## 解答類型

| 問題番号 | 解 答 類 型 |  | 正 答                          |   |
|------|---------|--|------------------------------|---|
| 1    | 三       | (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 話合いの流れを踏まえ、「二つの案」とは何かを明確にして書いている。<br>② ①で示した「二つの案」に「共通する内容」を書き、「二つの案」をまとめて紹介すればいいと考える理由を書いている。<br>③ 実際に話すように書いている。<br>(正答例)<br>・ (具体的には、)「学校行事」と「ボランティア」の二つの案を合わせて紹介することを提案します。両方とも生徒の自主的な活動であるというところが共通しているし、二つの案を合わせることで、今日出た三つの案をすべて生かすことができるからです。 |                              |   |
|      |         | 1  | 条件①、②、③を満たして解答しているもの         | ◎ |
|      |         | 2  | 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの |   |
|      |         | 3  | 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの |   |
|      |         | 99   | 上記以外の解答                      |   |
|      |         | 0  | 無解答                          |   |

## 2 学習指導に当たって

### ○ 話合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもつことができるようにする

話合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもちながら参加するように指導することが大切である。その際、必要に応じて話合いの話題について確認したり、話合いの経過を捉えたりすることができるように指導することも重要である。

例えば、小学校での学習を踏まえ、司会の進め方や話合いの記録の仕方等を確認した上で、実際に記録を取りながら話合いを行うなどの学習活動が考えられる。その際、話合いの途中で、それぞれの発言の仕方について留意すべき点を確認したり、目指している到達点に向けて取り上げる話題をどのように絞り込めばよいかについて考えたりするなど、話合いの仕方を見直しながら進めるように指導することも効果的である。

指導に当たっては、平成 24 年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語 B 1 三に係る授業アイデア例「対談を読んで考えたことを基に座談会を行う」、平成 25 年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語 A 1 二に係る授業アイデア例「話合いの動画を見ながら、司会の役割を話し合う」が参考になる。